

20170308_農業ビジネス研究会_議事録

日 時：2017年3月8日（水）19:00－22:00

場 所：東京／池袋「バー クオーレ」

テーマ：鹿肉×ワインの会

「東京農大生発「九州ほんものマイスター」とジビエの普及のために必要なこと」

発表者：三浦大輝さん（九州ほんものマイスター代表）

参加者：16人（発表者を含まない）

（NPO 法人理事長、農家、猟師、就農予定者、自営業者、会社員、大学生、
弁護士、社会保険労務士、行政書士、司法書士など）

メモ（文責、書記者）：

九州の鹿肉の流通をつくりたいです。熊本県八代市の1次解体施設、2次解体施設と連携しています。衛生環境を整えています。猪肉や鹿肉は古来日本では食べられていました。日本の伝統食です。ジビエを普及させたいです。屋久島の鹿害対策についてご招待をいただき、お話しを伺うことができました。毎年5千頭の殺処分をしていますが、全体で4万頭いるため頭数は横ばいのままです。しかも、9割が埋設処理となっています。屋久島の鹿肉の地域産業化を目指しています。

具体的な活動として、東京圏でのジビエの普及のためにマルシェ出店も行っています。中目黒と代官山で毎月出店しています。フェイス・トゥ・フェイスにて生産者や猟師の思いを届けたいからです。

現在、会社化を目指しています。事業の信用力向上と継続性を目指しています。

（この後、実際に鹿肉とワインのマリアージュを楽しみました）

以上